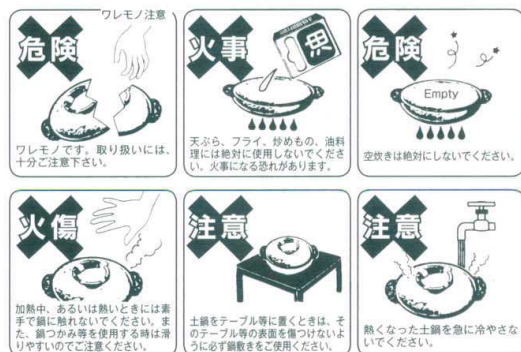


Catalogue No.

20529-884

ご使用上の注意

◎ 土鍋



- 初めてご使用になる前に荒土のアクを取り去るための米のとぎ汁又はクス野菜等を10分ほど沸騰煮込んで下さい。土鍋がしまるので丈夫になります。2度目からは普通に使用下さい。
- てんぷら・フライ等の「揚げ物」には**危険**ですから絶対に使用しないで下さい。火災になる恐れがあります。
- 「空炊き」をしないで下さい。
- 「ワレモノ」です。取扱いは充分気をつけて下さい。
- ご使用前は、土鍋の外側の水気を拭き取り弱火からご使用下さい。
- 加熱した土鍋に触れる時には、火傷をしないように**注意**し必ず鍋つかみ等を使用して下さい。
- テーブル等に置くときには、テーブル表面を傷つけないように必ず鍋敷きを使用して下さい。
- 熱い鍋を急に冷たい所へ置かないで下さい。
- ごくまれに、水分が鍋底にしみ出る事がありますが、異常ではございません。このような時は、お米のとぎ汁を、煮立てて頂きますと治ります。
- ご使用後は、カビ・臭気防止の為に良く洗って風通しの良いところで完全に乾燥してから収納して下さい。

◎ グラタン皿

- 直火には使用しないで電子レンジ・オーブンを御使用下さい。
- 加熱後、素手で触れると**火傷**する恐れがあります。鍋つかみ等を使用下さい。
- テーブル等に置くと、テーブル等の表面が傷つきます。鍋敷きをご使用下さい。
- 加熱後、急に冷やさず下さい。
- 使用後は水でよく洗い、必ず乾燥させてから保管して下さい。

◎ 金・銀絵付け

- 電子レンジ・オーブンは、使用しないで下さい。
- ご使用後は、台所用洗剤を柔らかなスポンジや布につけて洗って下さい。
- ご使用後は、クレンザーやナイロンたわし(研磨剤付)で強く擦ると金・銀や絵柄が剥けたり、表面にキズをつける原因になります。
- 食器洗い器で長時間にわたって使用されますと、金・銀や絵柄を傷める事になります。
- 銀絵付製品は、漂白剤を使用しないで下さい。

◎ 飾り皿

- この製品は食器としては、使用出来ません。
- 飾り棚・床の間等の上などでは、飾り皿を引きずらないようにして下さい。(傷がつくことがあります。)
- 安定感の悪いときには、安全に**注意**して設置して下さい。

◎ 花器

- この製品は食器としては、使用出来ません。
- テーブル・床の間等の上などでは、花器を引きずらないようにして下さい。(傷がつくことがあります。)
- 安定感の悪いときには、安全に**注意**して設置して下さい。
- 万が一水漏れの場合は、お買い上げ店までお申し出下さい。

◎ 傘立て

- 安定感の悪いときには、安全に**注意**して設置して下さい。
- 傘立ての中底には、スポンジなどクッション材になる物を入れてご使用下さい。(傘を入れた時に割れる事があります。)

◎ 陶板

- 加熱した陶板に触れる際は、鍋つかみ等を使用し、蓋穴からの蒸気にご**注意**下さい。
- 陶板をテーブル等に置く際には、鍋敷きをご使用下さい。
- 電気コンロを使用の際は、ヒーター部分との間隔を1cm以上あけて下さい。
- フリーザー(冷凍室)に入れた時は、解凍してから火にかけて下さい。
- てんぷら・フライ等の揚げ物には、使用しないで下さい。
- ご使用後は、よく乾燥させてから収納して下さい。

◎ 土物

- ご使用前に、熱湯に浸してあらかじめ生地に水分を充分含ませてからご使用頂くと、茶渋・シミ等がつきにくくなります。
- ご使用後の食器は、汚れを早く落とし台所用洗剤で、洗った後よくすすいで、よく乾燥してご収納下さい。
- 陶器は吸水性があるため、ご使用後の食器を水に浸したままにしておきますと汚れた水を吸収しカビ・シミや臭気を発生する原因になります。
- 茶渋・シミ等の汚れが気になる時には、台所用の漂白剤をご使用下さい。

◎ 土瓶むし

- この製品は直接火にかけられますが、次の点にご**注意**下さい。
- 必ず弱火でご使用下さい。
- 強火でご使用になれますと、本体に触れている「つる」の根元が焦げますので**ご注意**下さい。
- 「つる」の内側の針金が熱伝導により熱くなりますので、お取り扱いの際は**ご注意**下さい。
- 空炊きはしないで下さい。
- 加熱後は、受皿又は鍋敷きの上に置いてご使用下さい。
- 熱い容器を、急に冷たい所に置かないようにして下さい。
- ご使用後はよく洗い、カビ防止の為に乾燥させてからご収納下さい。

◎ 薬土瓶

- この製品は直接火にかけられますが、次の点にご**注意**下さい。
- 「空炊き」をしないで下さい。
- ご使用前は、土瓶の外側の水気を拭き取り弱火からご使用下さい。
- 強火でご使用になれますと、本体に触れている「つる」の根元が焦げますので**ご注意**下さい。
- 「つる」の内側の針金が熱伝導により熱くなりますので、お取り扱いの際は**ご注意**下さい。
- 加熱後は、鍋敷きの上に置いてご使用下さい。
- 熱い容器を、急に冷たい所に置かないようにして下さい。
- ご使用後はよく洗い、カビ防止の為に乾燥させてからご収納下さい。
- ご使用中、土瓶の底にヒビが入る場合がありますが破損ではありません。そのままいはいにご使用下さい。

◎ 電子レンジ金

- 電子レンジに使用できる特殊な金を使っていますが、金の表面の汚れやキズはスパークを起こす原因となりますので、ご使用の際は次の点に**注意**して下さい。
- ご使用後の食器は、台所用洗剤を柔らかなスポンジや布につけて洗い、汚れを早く落として下さい。
- クレンザーやナイロンたわし(研磨剤付)で強く擦ると、金が剥けたり、表面にキズをつける原因になります。
- 食器洗い器で長時間にわたって使用されますと、金線や絵柄を傷める事になります。

◎ 行平

- この製品は**耐熱陶器ではありません**。直接火にかける時は、以下のことをお守り下さい。火にかける場合は、底の水分をよく拭いて弱火からご使用下さい。
- てんぷら・フライ等の揚げ物には使用しないで下さい。
- 加熱した後、触れる時は鍋つかみ等を使用下さい。
- テーブル等に置く際には、鍋敷きを使用下さい。
- 電気コンロを使用の際は、ヒーター部分との間隔を1cm以上あけて下さい。
- 空炊きはさけて下さい。
- 使用後はよく乾燥させてから収納して下さい。
- 当商品のみならず、直接火に掛ける陶器につきましても同様にご使用下さい。

◎ コンロ

- 敷板をしてご使用下さい。
- ご使用中は素手で触れないで下さい。
- 連続してご使用されますと割れる恐れがあります。